

### Contents \*成人年齢引き下げ \*さらに注目を浴びる【宅配ボックス】 \*コラム

## 貸貸経営への影響は？



# 成人年齢 引き下げ

成年に達すると、親の同意がなくても、自分の意思で様々な契約ができるようになります。携帯電話を契約する、一人暮らしの部屋を借りる、クレジットカードをつくる、高額な商品購入でローンを組むなど、親の同意がなくても単独でできるようになります。

また、親権に服さなくなるため、自分の住む場所、進学や就職の進路なども自分の意思で決定できるようになります。さらには、10年間有効のパスポートを取得したり、公認会計士や司法書士、行政書士などの資格を取得することもできるようになります。

- ◆成年に達すると何が変わる？
- 民法が定める成年年齢には2つの意味があります。
- ①「一人で契約をすることができる年齢」
  - ②「父母の親権に服さなくなる年齢」

◆いつから変わった？

2022年4月1日から、成年年齢が20歳から18歳に変わりました。既に18歳以上の人は、4月1日から成年となり、4月2日以降の誕生日の人は18歳の誕生日を迎えれば成年となります。生年月日によって成年となる日に違いが生まれます。

2022年4月から、成年年齢が現行の20歳から18歳に引き下げられます。

約140年ぶりに成年の定義が見直されることになるわけですが、引き下げによって貸貸経営にも影響があります。

中村 一也

表1

生年月日	新成人となる日	成年年齢
2002年4月1日以前生まれ	20歳の誕生日	20歳
2002年4月2日から2003年4月1日生まれ	2022年4月1日	19歳
2003年4月2日から2004年4月1日生まれ	2022年4月1日	18歳
2004年4月2日以降生まれ	18歳の誕生日	18歳

※表1・表2 引用:政府広報オンライン

表3 引用:全国賃貸住宅新聞